



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

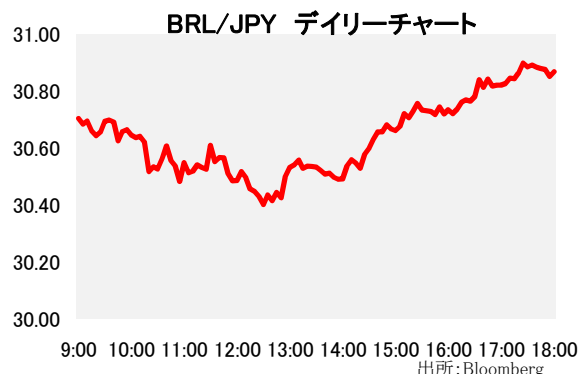
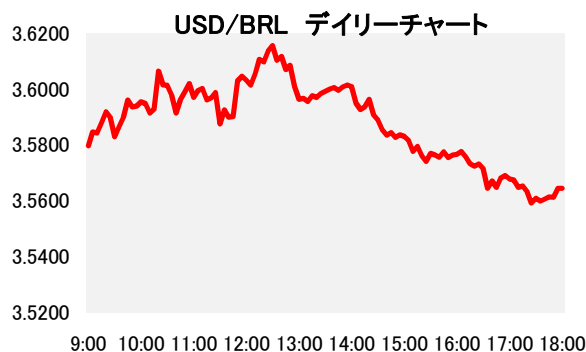
## 1. マーケット・レート

			5月13日	5月16日	5月17日	5月18日	5月19日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.5330	3.5010	3.4880	3.5650	3.5640	-0.0010
	BRL/JPY	Spot	30.75	31.15	31.23	30.90	30.87	-0.03
	EUR/USD	Spot	1.1309	1.1320	1.1316	1.1217	1.1202	-0.0015
	USD/JPY	Spot	108.63	109.03	109.13	110.17	109.97	-0.20
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.784	13.748	13.792	13.867	13.835	-0.032
	Future	1Year(p.a.)	13.164	13.180	13.236	13.307	13.232	-0.075
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.245	2.252	2.261	2.345	2.400	+0.055
	USD	1Year(p.a.)	2.365	2.446	2.460	2.632	2.685	+0.053
株式	Bovespa指数		51,804	51,803	50,839	50,562	50,133	-429
CDS	CDS Brazil 5y		328.78	328.23	332.75	342.32	354.13	+11.81
商品	CRB指数		182.548	184.584	185.856	185.399	183.882	-1.52

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
税收	112200m	110895m	95779m
(米)シカゴ 連銀全米活動指数	-0.20	0.10	-0.55
(米)新規失業保険申請件数	275k	278k	294k
(米)失業保険継続受給者数	2158k	2152k	2165k
(米)フィッシャー連銀景況	3.0	-1.8	-1.6
(米)ブルームバーグ 経済期待	--	44.5	44.5
(米)ブルームバーグ 消費者信頼感	--	42.6	41.7
(米)先行指数	0.4%	0.6%	0.0%



## 3. 要人コメント

ラッカー 米リッチモンド連銀総 裁	6月に金利を引き上げる根拠は非常に強いと考えられる。
-------------------------	----------------------------

## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.5740で寄り付いた後、海外で昨日の米FOMCの議事録のタカ派的な内容を受けてリスク資産の売りが見られたほか、大口の資金流出の噂が聞かれたことを受けて 軟調に推移し、正午過ぎには本日の安値となる3.6180を付けた。しかし午後に入るとレアルはじりじりと買い戻され、引け間際に本日の高値となる3.5590を付け、結局3.5640でクローズした。
- 先週の米週間失業保険申請件数は約1年振り高水準だった前週から減少し、2月初め以来の大幅減となった。
- 米金融当局が6月にも政策金利を引き上げ、低調な世界経済の負担を重くするとの懸念が広がったことを受けて、S&P500種株価指数は7週振り安値となった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお問い合わせ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。